

【業界初！！折り紙の基礎】指育フェルトシリーズ サンドイッチ



(意匠登録済)

ご購入いただき本当にありがとうございます。

子どもが将来、自分の可能性を誰よりも信じ、欲しい未来を手に入れる力、諦めない力を身に付けることを目指してこの教材を考案しました。

夢を叶える器用なカラダと諦めない強いココロ

この両輪を兼ね備えていって欲しい

「やりたい」を叶える身体作り

「できた」の積み重ねは大きなやる気

幼少期からの家庭の自律から社会の自立へ！！

一つで何通りにでも展開できる。そして子どもたちに愛してもらえるものになってほしい。教材たちをどうぞ可愛がってあげてください。

教材について詳しく解説していきますので、ゆっくりしっかりご覧いただきご活用していただけたら嬉しいです。

ご不安なこと・ご不明なことなどはいつでもご連絡くださいね。 info@angelicsmile-baby.com

中島優子

= この教材から得られる結果 =

この教材にはオリジナルソングがありません

1) 図形が身に付く

この世に存在するすべてのものはいくつかの図形が基礎となり、存在しています。
そんなちょっとしたことに目が向けられる豊かなココロ

小さなうちから様々なことに興味関心を示すココロの基礎作りをすることで
情報をキャッチする力、処理する力、自分なりの答えを導き出す力が育ちます。

図形に興味を示すこと。

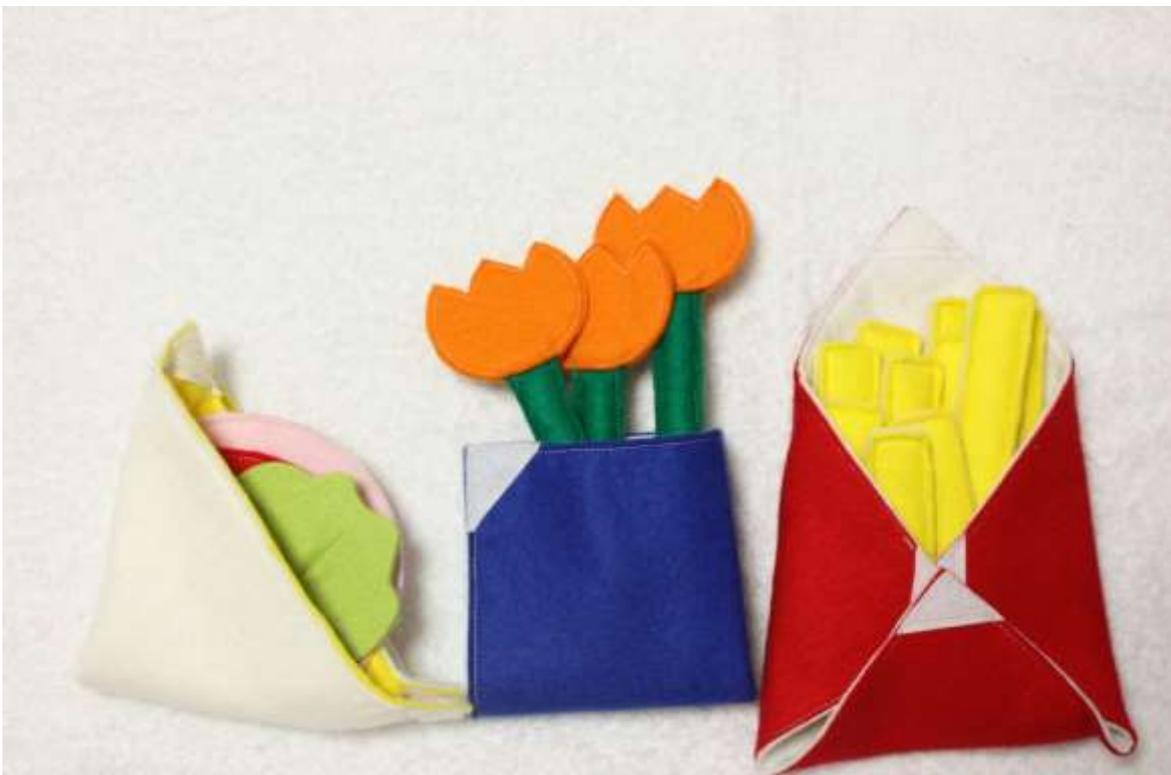
これは将来、公式なくとも図形の計算ができる力の基礎作り。

公式に当てはめるだけでなく、どうしてこの公式になったのか・・・そんなことが分かること。
気づけることは、将来、自分で人生を切り開くのにとても重要です。

自分で導き出せる子、そうでない子の違いは・・・

幼少期にどれだけ体験をしてきたか、生活の中でどれだけ学びの要素があるか・・・です。

ただただ折る・・・自分に好きなように遊ぶ・・・そんな中に教育要素を盛り込んだ教材です。



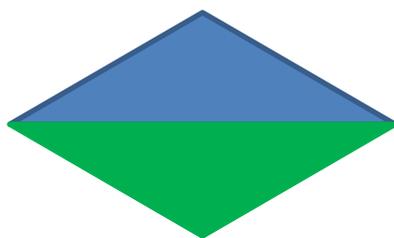
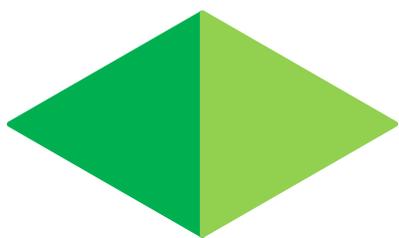
まずは・・・三角、四角、長方形など限られた図形しか折れないようにみえますでしょ。
でもね、平行四辺形を考えてみてください。



・・・ね。四角形と三角形でできているでしょ♪

基礎ができていれば、こんなことに簡単に気が付く

他には・・・ ひし形。三角形二つでできている——と気が付くでしょう。



すると・・・公式いらずで子どもたちが考えだすことができます。
幼少期から・・・たくさん体験させてみてくださいね。

まずは・・・形を作るということを楽しんでくださいね。



[公式を知らなくても導きだす力を育てる](#)

2)角を合わせる折り紙基礎が手に入る

折り紙を始めるとき・・・

しばらくちぎったり、ぐちゃぐちゃにしていることが続くと思います。

それを取り上げて、折る！！なんてことをしてしまうと逆効果！！

折り紙の角を合わせるって・・・子どもにとって、難しいのです。

ツルツルすべる紙を指で押さえながら、更に他の指を使って折る。折る子どもにとっても

折らせたいと願うお母さんにとってもハードルが高い。

そんな折り紙をお手軽簡単に作り上げた教材です。どんな使い方でもいいので、ドンドン遊びに利用していただけたら嬉しいです。



折り紙の角を合わせることは難しいかもしれませんが、フェルトなら簡単にできます。

何度も何度もチャレンジしてみてくださいね。

そして、なんとなく折れるようになったら・・・



「三角いっしょだねー」なんて合わせてみてくださいね。

仲間探しのひとつになります。

受験問題に「仲間外れ」という問題も出てきます。

仲間外れの前に・・・仲間であることを知ることが大事です。

* 写真は「まんまるまるちゃん」の教材の一部ですが、持っていない場合は台紙を作るなどして代用して取り組んでみてくださいね。

- 1 歳児さんは「一緒・一緒」
- 2 歳児さんは「三角・同じだね」
- 3 歳児さんは「三角形だね。」「四角形」「円」

こんな風に少しずつステップアップしていきましょうね。
このステップの仕方は他のことにも応用できます。

親しみやすい・習得しやすいので赤ちゃん語はおススメですが、徐々に大人にも使える言葉に移行していきましょうね。

「まんま」で始まったご飯

「ご飯」

「メニューの名前」

など子どもの知識を増やすという意味でも言葉の進化を意識して行ってくださいね。

3) 組み合わせなどの発想力・予測する力が育つ

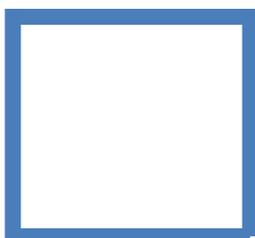
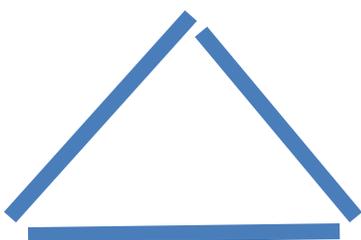


折り紙どうしを組み合わせることも可能です。三角と四角・・・を組み合わせれば台形になりますしね・・・

また付属されているハムやトマト

これらも半円なので、組み合わせることで円になりますね。

ポテト 4 本で四角形、3 本で三角形



こんな感じで図形の勉強もできてしまう。余裕があれば、五角形、六角形などもアナウンスできますね。

三角形と四角形でお家ができたり、電車になったり・・・

様々なチャレンジをしながら、自分で見つけ出すようにお母さんも一緒に遊んでくださいね。

いつもいつも見本や手本に捉われず、子ども自ら発想することが大切であることに気が付いてくださるとこれからの子どもの発想力に未来は明るいです。

こんなことを遊びながら、お母さんが言葉としてアナウンスできること。

この一歩先の学びをお母さまが身に付けること。ここが大きなポイントになります。

なんのために・・・という視点をいつも持ってほしいと思います。

遊びは楽しい！！もちろん楽しいを優先してほしい。

その中で、学びになるきっかけを与えられる。そんなお母さんの技を習得していただけたらと思います。

月齢に沿った具体例はオンライン指育教室にて・・・ご興味がある方はご連絡ください。



折り紙の素晴らしさは[こちら](#)の記事を参考にしてください。

4) 大きさの概念が身に付く

[数の概念](#) PDF を参考にしてくださいね。



①はじめは「同じ」を探し出してみてくださいね。

子どもたちは「一緒」が大好き。

お母さんと一緒、お父さんと一緒、お姉ちゃんお兄ちゃん、お友だち

大好きな人と一緒が大好きなので本来言葉としては「同じ」ですが、「一緒」をあえて使ってみてくださいね。習得が早くなりますよ。



②大小を見つける

2つを比べて大小「大きい」「小さい」を判別する。

3種類あり、トマト・ハムとあるので12パターンに増えていきます。

色々なバリエーションで子ども自ら手を動かして確認したり、試したり・・・子どもが自ら発見する力を育てていきましょう。



③この折り紙教材は教材の中で一番対象月齢が高い

よって・・・大小だけでなく3種類の大きさを用意しました。

「大・中・小」

おおきい・中くらい・小さい

「一番大きいものはどれ？」

「一番小さいものは？」

「中くらいのものをちょうだい。」

なんて会話をしてみてくださいね。



《達成感を積み重ねる方法》

子どもが理解できないときは・・・

「これ中くらいね。」としっかりと見せてから、即「中くらいはどれ？頂戴。」なんて大ヒントを見せてから実行！！「できた——」を感じるが大優先です。是非、試してみてくださいね。

自分の力で成功へ向かう一番の近道です。

5)数の基礎概念が身に付く

[数の概念](#) PDF を参考にしてくださいね。

大小・上下・長短・遠近・前後・色・形・比較・量・数・順列など数に入る前にしっかりと習得しておくことをおススメします。高い能力はこの基礎が土台になること。この土台を元に高度な能力が育っていきます。

とっても大切なことなので幼児期に取り組みを済ませてくださいね。

* 数唱10までしっかりと行う。

数字と合わせて(イチ=1、ニ=2、サン=3)というように、数と数字が合う事をポイントとしてくださいね。

* 一対一対応(ぬいぐるみに配る。あまりも確認)

* 一対多対応(一人2つずつなど決まりに従ってわけてくださいね。掛け算、割り算の基礎になります)

6)お片付け習慣が手に入る



地頭を作る家庭習慣にも整理整頓が入っています。

身の周りの管理ができ、片付けができる。そんな基本的なことを丁寧にこなしながら生活できる子は地頭が良くコミュニケーション能力が高い。そんな傾向にあります。

計画を立てる

使いやすさを実感しながら取捨選択をする

集中する

継続をする

身の周りを整える習慣がつく

そんな基本姿勢ができること＝片付け・整理整頓

地頭の良い子どもを育てるコツのひとつです。

片付けが上手になるコツは、片付けしやすい環境を作ること。

ここが習慣化するコツになります。

コツコツ続けられること。

これは今後、すべての土台となりますので幼児期から上手に育ててくださいね。

誕生秘話



折り紙を折ることで素晴らしい数々の体験

指先の繊細さ、折り方本の解説を読み取る力

図形を描くこと・理解することの適応力

折り紙って素晴らしい！！

ただその想いをたくさんの子に伝えたい。

それでも、折り紙の紙はツルツル

角を合わせるということが難しいからスタートするのが折り紙！！

どうにか折り紙を好きになってもらうには……

ワクワクして折り紙に取り組んでももらうために思いついた方法

ガーゼハンカチで折り紙

我が子たちは折り紙の前にガーゼのハンカチを濡らした状態で

折り紙の初歩としました。

程よく濡れたハンカチはとっても扱いやすく、きれいに折れたのです。

我が家のお風呂の遊びはなんと……折り紙だったのです笑

そのおかげか、折り紙大好き兄弟になりました。

ある日のこと

「お母さんの教室の生徒さんは何人？？？」

10年前、当時は40人ほどのお子さんが通ってくださっていたのですが

二人でせっせと……



一人二つずつの大量のどんぐりができたのでした。

なんと・・・80個

折り紙って人の想いも届けるのです。

「渡したい」「みんなのために」が表現できるって楽しいだろうな。

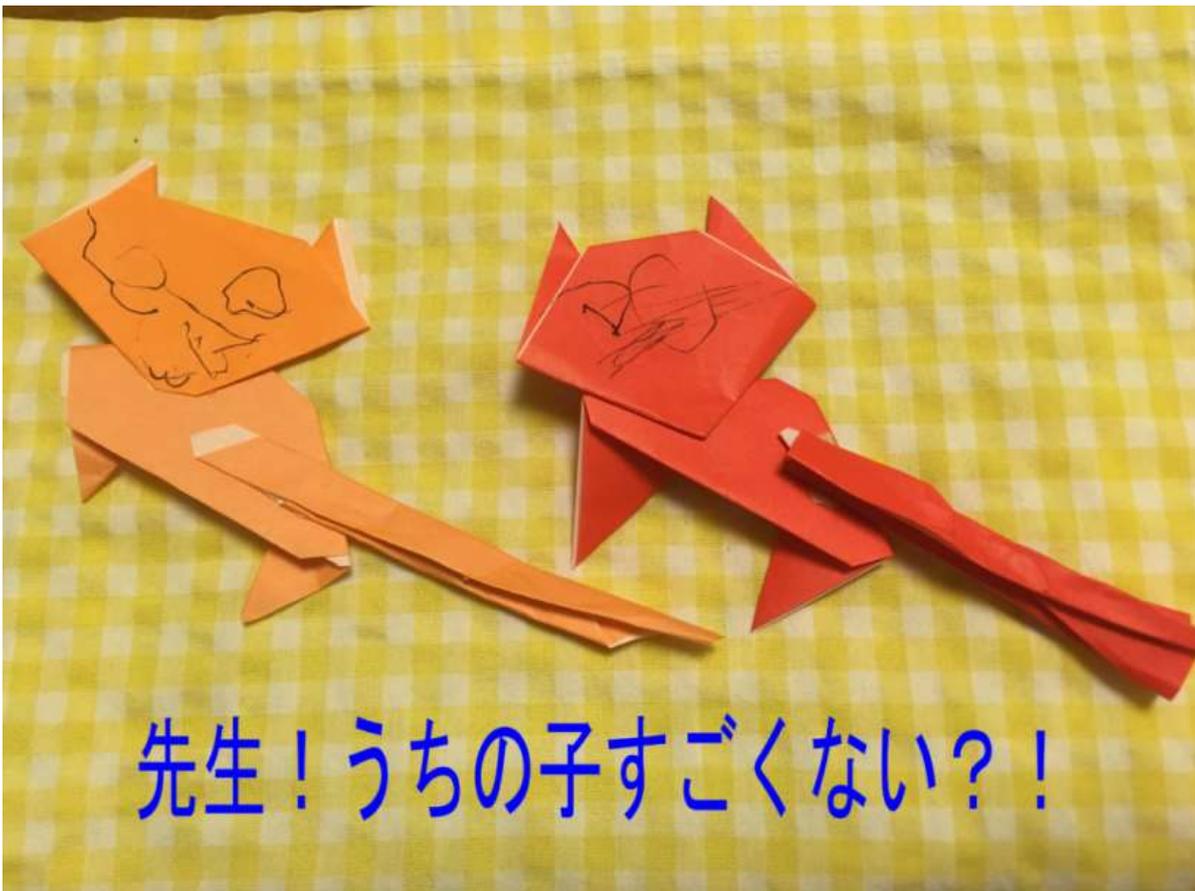
それからというものの私のためにもたくさんの折り紙プレゼントを贈ってくれました。

そんな想いが伝わる・表現できる折り紙を1歳から好きになってくれる教材をつくりたい。

まだ見たことのない教材をつくりたい。

子どもの心と可能性を伸ばす折り紙に対応した教材づくりを始めたのでした。

分かっているけど・・・折り紙っていつからなのよ！！



折り紙はね。みんなやった方がいいですよって相談に来る。

もちろん「はい。おススメです。」と即答

でもね。どうして必要なのか知らないし、なかなかハードルが高いような気がしているのが折り紙。

折り紙本はお母さん自身も苦手！！なんて人は多い。

そんなお母さまのハードルをグッと抑え、ただ遊ぶだけ。

教えなくても一緒に遊ぶだけで折り紙の基礎作りができます。

何よりも・・・お母さんが楽しい♪これが一番の教育！！

折り紙のすばらしさを多くの方に伝えたい！！

こちらの記事も是非参考に♪

[「折り紙って何歳から始めたらいいの？」](#)

・図形が身に付く

⇒自分で実際に作るからこそ、身に付くのです。

体験しないものはただの使えない知識。

そんな学習ではなく実体験が元となる使える知識が身に付く

・角を合わせる折り紙基礎が手に入る

⇒折り紙の苦手意識「綺麗に折れない」を1歳からラクラク手に入れる

遊びながら指先が上達するニューアイテム

・組み合わせなどの発想力が育つ

⇒単体で折ってもよし、繋げて長方形にしてもよし。

自分の好きなように繋げられるエッセンス・創造力を育てます

・大きさ・形の概念が身に付く

⇒付属されているお野菜セット 2歳までに触れてほしい「大・中・小」

組み合わせたり並べたり、触っていることで違いに自分で気が付く

・数の基礎概念が身に付く

黄色のポテトや野菜セットで10までの数が学べます。

数の理解がスムーズ

・お片付け習慣が手に入る

⇒壁掛け式のため、遊びの後の片付けがスムーズ

片づけることでインテリアとして完成するので片付けの概念が変わります



サンドイッチセット詳細

指育フェルト 3 点セット

(収納袋3つ、折り紙フェルト3つ、トマト大中小・ハム大中小・レタス3つ・ポテト 10 本)

オリジナルソングなし

解説 PDF

数の概念 PDF

「公式を知らなくても答えを導きだす力を育てる」動画

対象: 8 か月～3 歳ごろまで

取り組み時間: 自由